



浜松市博物館情報



Hamamatsu City History Museum News

2025.12.15
No.371



ほんむら おおやま
本村遺跡（中央区大山町）の方形周溝墓

浜松市域では、弥生時代中期の中頃（紀元前二世紀頃）から、周囲を溝で四角く区画した方形周溝墓が造られ始めます。近畿地方から伊勢湾沿岸を経由して伝わったと考えられ、浜松市域の様々な遺跡で確認されています。方形周溝墓は、集落から区別された場所に造られ、多くの場合は複数の墓が並んでいます。埋葬施設は失われていることが多いのですが、中心部に木棺等による埋葬の痕跡が検出される場合があります。また、穴を穿たれた土器が溝から出土することもあり、供えられていたものと考えられます。

ほんむら おおやま
本村遺跡（中央区大山町）では、居住域から小さな谷をはさんだ北側に、弥生時代後期の方形周溝墓のまとまりが確認されました。伊場遺跡群（中央区東伊場二丁目ほか）では

浜松市博物館では、伊場遺跡群の出土品が国的重要文化財に指定されたことを記念する特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」を令和八年一月十八日まで開催しています。弥生時代は、日本列島に稻作等の農耕が広まつた時期であり、社会の変化を反映するかのように、墓のあり方も変化します。今回は、伊場遺跡群を含めた浜松市域の弥生人たちの墓を紹介します。

土器を棺とする土器棺墓は、縄文時代からみられる墓のあり方です。複数の土器を組み合わせ、棺として使用する例が多くみられます。大平遺跡や角江遺跡（ともに中央区入野町）、下滝遺跡群（中央区半田山五丁目ほか）等で確認されています。

方形周溝墓

浜松市域では、弥生時代中期の中頃（紀元前二世紀頃）から、周囲を溝で四角く区画した方形周溝墓が造られ始めます。近畿地方から伊勢湾沿岸を経由して伝わったと考えられ、浜松市域の様々な遺跡で確認されています。方形周溝墓は、集落から区別された場所に造られ、多くの場合は複数の墓が並んでいます。埋葬施設は失われていることが多いのですが、中心部に木棺等による埋葬の痕跡が検出される場合があります。また、穴を穿たれた土器が溝から出土することもあり、供えられていたものと考えられます。

土坑墓は、地面に穴を掘り、遺体を埋める墓です。副葬品が無いと、墓なのか判断しにくいため、土坑墓と考えられています。

鳥居松遺跡や梶子北遺跡では、集落の周辺の低い場所に集中して造られた土坑群があります。人為的に埋め戻されたものが多く、梶子北遺跡では三〇〇基を超える。

後期前半の終わり頃、短期間に数多く造られたと考えられ、伊場遺跡や梶子遺跡が急激に衰退する時期と重なります。出土品が乏しいため評価が難しいのですが、このような多数の土坑が墓であったとすると、疫病や飢饉など、集落の人々が一度に大勢亡くなつた状況を想定することができます。伊場遺跡群の人々は、繁栄の後に、大きな転機を迎えていたのかもしません。

浜松市域の弥生人たちの墓



しろやま
城山遺跡（中央区
若林町）から出土し
たガラス小玉と管玉

【収蔵資料の紹介】

打ち欠かれた壺(鳥居松遺跡)

重要文化財



とりいまついせき
鳥居松遺跡は、伊場遺跡群の南東部分に当たる遺跡で、伊場遺跡や梶子遺跡が衰退した弥生時代後期後半にも集落が営まれ続けます。用途不明の土坑(地面に掘られた穴)が30基ほど確認され、一部から土器が出土しています。特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」では、土坑から出土した土器を見ることができます。

写真の壺は、上半分が打ち欠かれています。平べつたい胴の周りに、尖った帯が巡っていて、伊場遺跡の他の壺には、あまり似たものがないデザインです。

なぜ土器が打ち欠かれ、土坑の中に入れられたのか、詳しいことは分かりません。土器を打ち欠く行為は、土器棺墓の棺や、方形周溝墓に供える土器にもみられることから、弔いに関係しているのではないかと考えられます。土坑内部の土の堆積の状況から、土器が出土した土坑は徐々に埋まっていき、何も出土しなかった土坑は、人為的に埋め戻されているという違いがあることから、前者は弔いに関わる祭祀行為の痕跡で、後者は墓だったのではないかと推測されます。

催し物のご案内

★特別展「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」

2025年11月22日(土)～1月18日(日)

☆ギャラリートーク

12月28日(日) 14:00～14:30

1月18日(日) 10:30～11:00

☆講座×ギャラリートーク

「伊場遺跡を語る」

1月10日(土) 10:00～14:00

会場：浜松市立城北図書館及び浜松市博物館

☆座談会「伊場遺跡とは何か」×伊場遺跡見学会

1月12日(月・祝) 9:30～14:30

会場：浜松市立西図書館及び伊場遺跡公園

※関連事業の申込方法等の詳細はHPをご覧ください。

★小展示「道具たちの100年」

2025年11月22日(土)～2月23日(月・祝)

「回転の力を生かした道具たち」のテーマのもと、道具と暮らしの移り変わりを展示しています。

★冬休み体験館

2025年12月25日(木)～1月4日(日)

ミニしめ飾りづくりや

こまの絵付け体験、水に

濡れた古文書の応急処置

体験など、子どもから

大人まで楽しめる体験学

習事業を日替わりで開催！

※体験学習事業の日程等の詳



★干支展「ウマ」

1月29日(木)～3月8日(日)

2026年の干支「ウマ」にちなんだ資料を、豊橋市自然史博物館との相互貸借により紹介します。

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

1月10日(土)、2月14日(土)

14:00～14:30(申込不要)

会場 旧高山家住宅(蜆塚公園内)

左から

ホームページ

X(旧ツイッター)

インスタグラム



※各事業の詳細は、HPやSNSでご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

浜松市博物館

〒432-8018 浜松市中央区蜆塚四丁目22番1号

電話: 053-456-2208

メール: hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日(休日の場合翌日)

年末年始(12/29～1/3)

臨時休館日(1/20、21、28)